

## うべ自転車レーンモデル施工完成記念 「みんなでうべ自転車レーンを走ってみよう！」活動レポート

- ・日時：2015年4月4日（土） 13:00～15:50
- ・場所：宇部マテ“フレッセラ”テニスコート管理棟2F第1会議室、およびうべ自転車レーン
- ・参加者：高橋、村上、兼久、三浦、石井、大西、近藤、小林、太田(UNCCA)、田中文代市議、村上課長（道路河川管理課）、川崎（環境政策課職員）、合計12名。
- ・沿道で写真撮影：花田（市民活動課）
- ・呼びかけ団体：うべ交通まちづくり市民会議・宇部市地球温暖化対策ネットワーク

### 1) 開会

高橋会長より挨拶で、「うべこまち設立以来、1つの目標であった”うべ自転車レーン“が900m施工されたことは大きな喜びであり、今後に期待する」との言葉があった。村上課長より、「うべこまち・UNCCAの協力により、自転車レーン安全通行マップの配布、市民や学生への啓発が進められていることに感謝している。市としても、自転車レーン竣工について、報道発表、市広報への掲載等、周知徹底に努めており、事故無く利用が増えるよう対策をとっていく」との挨拶があった。

### 2) 自転車レーン試走

13:35～14:15まで竣工した自転車レーン（神原交差点～清水川交差点）+恩田交差点までを10名で2往復（約5km）ほど試走行した。走行中、恩田運動公園に向かう野球部の自転車中学生が、試走する仲間に混ざって車道レーンを走る場面もあった。



撮影：兼久



カメラ：兼久



中学生もレーン走行 撮影：村上



撮影：村上



ダイソー前交差点に矢羽根 撮影：村上



清水川交差点を遠望 撮影：村上

### 3) 意見交換

帰ってから、14:20~15:50、感想、意見交換会を実施。10名。

- ・全体の感想として、走行帯が明示されて安心感があり、走りやすいとの評価である。
- ・走行面をもっと平坦に仕上げて、レーンの幅を拡げてとの声もある。
- ・予算の兼ね合いでコストパフォーマンスに配慮が要るが、平滑性を上げたら本当に、多くの人に走行を呼び掛けられるし、利用率が上がると思う。
- ・自転車レーンでは、停止線で止まることを改めて体験、確認した。
- ・遅い自転車がいたらどうするか、なるべく抜かないで。
- ・停止車両がいたら、後方を十分確認して車線に出ても良いと思う。自転車のバックミラーがあれば役立つかもしれないが、後ろを振り向き目で確認が大切。後ろを振り返ったくらいで、ふらふらしない技量も要る。アメリカの自転車マップでは、停止車両のドアが開く危険を警告していて、ドアの幅ほど、外側を通るよう指導している。
- ・呼び水走行は格好よく、法規、信号をしっかりと守って走ろう。
- ・歩道に手押し車の歩行者がいて、自転車がレーンに降りて抜いたケースもあり。
- ・自転車ネットワークとしては鍋倉交差点（ナフコ）から市道・県道をつなげたい。
- ・野球部の中学生がいっしょにレーンを走ったが、危ないという様子はなかった。ただはしゃいで立ちこぎしたりもあり。
- ・70代、若い時はサイクリングを楽しんでいたが、小林さん、疋田さんの講演を聞いて、良い自転車を購入、速度も出るし、車道を走るようになった。念願の自転車レーン実現、これを伸ばしていきたい。
- ・沿線学校の生徒や先生に、今日、参加してほしい。（連絡が十分届いていないのでは。）
- ・厚南4区のまちづくり講演会（2月）で、シンポジウムの中学生が、「同級生10人に聞いたところ、



撮影：兼久

車道を走るのは怖くない人が多い。何故歩道を走るかといえば、車が怖がる、車の迷惑になると思って」と発言していた。

- ・高校と連携して自転車レーン走行の動画を撮影し、周知啓発に活用したい。
- ・道路河川管理課の村上課長によれば、工期が5月末までなので、凹凸箇所については、適宜、補修手直しがなされるとのこと。

全体意見交換の声として、今後、周知期間の立哨と安全走行の啓発にも協力すること、さらに活用がすすめば、レーンの延長、ネットワーク化にも取り組みたい、それには、仮に、「宇部市自転車ネットワーク検討協議会」のような、市民団体、地域住民、企業、行政、警察が話し合い、検討する”場“が必要だとの意見がありました。自転車レーンの延長については、産業道路の神原交差点から記念会館前交差点までの県道琴芝際波線への施工を、矢羽根のような形でも県に要望をだし、提案していく意見がある。産業道路の記念会館前交差点から190号線鍋倉交差点（ナフコ）までは、市道で幅員が広く、自転車通行の需要も高いので、施工が望ましい。恩田交差点から都市計画道路として整備中の草江駅・山口宇部空港への道路に自転車レーンを整備することは、宇部市のブランド、象徴的な宣伝効果が見込めるが、自転車通行の実質的な台数は現施工区間に比べて低いと思われる。

最後にうべこまち副会長・村上より、4月は立哨や呼び水走行により、左側通行厳守を徹底し、レーン利用の自転車が増えるよう、市民側から取り組むこと、5月以降、県や市にレーンの延長とネットワーク協議を要望していくことを発言して閉会しました。

参加頂いた皆さん、準備に協力いただいた皆さん、沿道から応援頂いた皆さんに感謝します。

(文責：村上ひとみ・小林立夫)